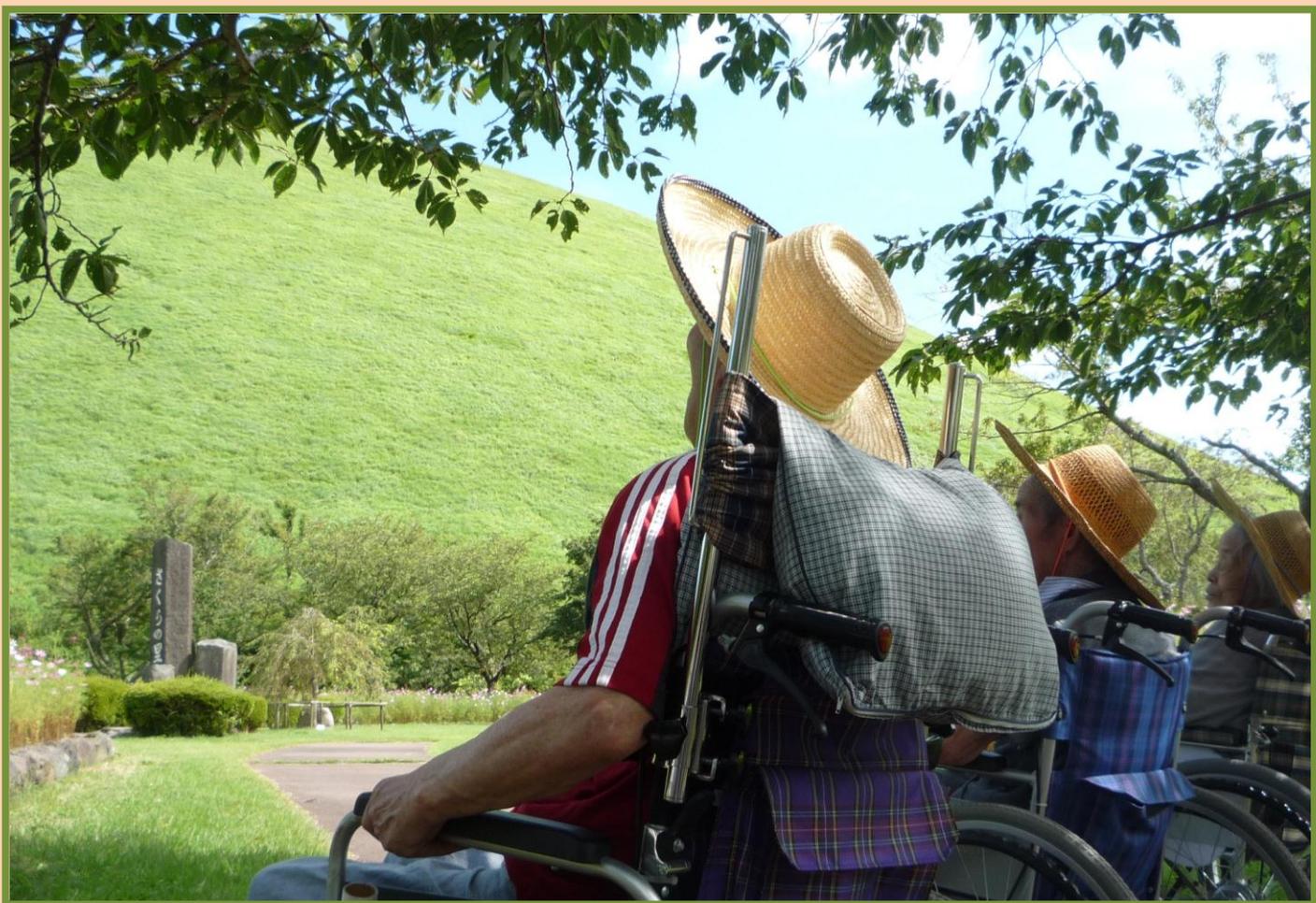


# 夕光

ゆうかげ

伊豆高原十字の園 機関誌

No. 116



## 特集

「あなたのために」から「あなたとともに」へ 施設長 森 茂廣

今年は秋祭り 祝敬老の日 ～ユニット敬老会の様子～

～シリーズ～ ユニットケア奮闘記

個別機能訓練がスタートしました

介護予防事業を紹介します

＜表紙の写真＞

国指定の天然記念物、大室山

9月に伊豆半島ジオパークのひとつ  
として認定されました。

間近で見ると迫力満点です！

# 「あなたのために」から 「あなたとともに」へ



伊豆高原十字の園  
施設長 森 茂廣



伊豆高原十字の園に赴任して、早3ヶ月が経過しました。これまで、いくつかの施設を転々としてきた私は、当初、環境が変わることに対する不安等、全く予期していませんでした。しかしなぜか、今回は日増しに、漠然とした不安に包まれ、ホームシックのように悶々としている自分がいます。それはおそらくこの7年間、平和の杜の入居者やスタッフの皆さんとの温かい交わりや信頼の絆に支えられていたため、なじみの環境から離れたことによる不安と、これからあらたに、伊豆高原十字の園の皆さんとの信頼のパイプをつなぎ、補強しながら、施設運営を進めていかなければならないというごく当たり前の緊張感があるからだと思っています。

そこで、今はせつかく不安という新たな経験をしている私ですので、7年〜90年の人生を経て、この伊豆高原十字の園へ入居される方々の不安なお気持ちに重ね合わせて、想像を膨らませることにしています。・・・いきなり、知らないところに案内され、知らない人に囲まれて、どうすればいいのかわからない、恐怖、不安、無力感に襲われて、泣き出したくなるほど困っているお姿が浮かんできます。・・・そんな心境を追想してみると、あらためて、伊豆高原十字の園が運営理念として掲げる「あなたのために」という「ことば」の持つ重要な意義が理解できるような気がしてきます。

「あなたのために」とは、・・・それは、「目の前のお一人おひとりのために」そして、伊豆高原十字の園を「必要とするすべての人々のために」ということにほかなりませんが、・・・特に、要介護、要支援状態で不安を抱えた方々にとつて、「わたし」（伊豆高原十字の園）は「あなた」のためにあるのですよ！と、全面的に「あなた」を受入れ、仕える姿勢を示す「ことば」、不安を安心に変える大切な「ことば」であると思っています。そして、この「ことば」が、スタッフからの提案で選ばれたことに感銘を覚えています。

この秋、伊豆高原十字の園では、秋祭りを開催する予定でした。残念ながら雨天中止となりましたが、スタッフたちは、数ヶ月前から日常業務の間に、懸命に準備を進めていました。そして、そのテーマは「絆」でした。「この施設を入居者や利用者の皆さんとの出会いから、ご家族、スタッフ、ボランティアのみなさんとの『絆』を大事にしながら、成長、発展させたい」というスタッフの思いがあふれて生まれた「テーマ」だといえます。

そこで、今回は、伊豆高原十字の園の成長を願って、理念を「あなたのために」から「あなたとともに」へと、展開することを提案したいと思っています。「あなたのために」は、伊豆高原十字の園の思い、姿勢（原点）を示していますが、「あなたとともに」は「あなた」Ⅱ（地域の皆さん）と「私」Ⅱ（伊豆高原十字の園）の関係を豊かに生きることと、ともに「あなたの幸福」と「地域社会の成長発展」を生み育てることを意味しています。出会いから、絆を育て、新たな生活、新たなコミュニケーションの創造へ向けて進む方向性を示す「ことば」です。

「あなたのしあわせ」が「わたしのしあわせ」となり、「みんなのしあわせ」へとつながっていく歩みこそが社会福祉施設の歩む道だと思っています。「誰もが安心して、支えあい助け合って生活できる、ノーマライゼーション社会」の実現に向かって、「あなたとともに」歩みたいのです。

「あなたとともに育てたい私の夢」

(1) ともに生きる喜び、生きる自由、生きる希望を！！

特別養護老人ホーム「伊豆高原十字の園」は、入居者を中心に、ご家族、ボランティア、スタッフがともに創る10のファミリーです。入居者の皆さんお一人おひとりに最後まで寄り添い、ともに生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創りたいと願っています。

(2) ともに安心して暮らせる地域社会の実現を！！

在宅事業の目的は、高齢者とご家族が安心して生活できる地域社会を育てることです。地域の皆さんが、住み慣れた我が家で、住み慣れた地域で、最後までとともに安心して生活できる暮らしの実現を目指します。なかでも、認知症ケアの新しい文化の普及、浸透は大切なテーマです。

(3) 伊豆高原の素晴らしい自然を皆さんとともに！！



悠久たる地球の歴史の中で、生みだされた伊豆高原のかけがえのない素晴らしい自然環境は、十字の園に集う人々と自然が共生する自然公園として大切に、守り育て、そして、その豊かさを共に楽しめるように整備したいと思います。心癒し、活力を生む十字の園に！！

## 秋祭り



昨年までは8月に恒例行事として納涼祭を行っていましたが、今年は初めての試みとして9月に秋祭りを開催することにしました。秋祭り委員を中心に皆さんに楽しんで頂けるよう準備を進めてきました。模擬店では食べ物全て無料！催し物では皆さんの大好きなカラオケ、よさこい、子供達によるHIP HOP、フラダンス♪そして最後に花火を予定しておりました。

しかし、朝からあいにくの雨により今年の秋祭りは中止となってしまいました。

皆さんが楽しみにしていた秋祭りをなんとか行うことが出来ないか考え、秋祭りの模擬店で食べる予定だったフランクフルト、焼き鳥、焼きそばを祭りの雰囲気っぽく？召し上がって頂き、ユニット職員は、ほっぺが落ちるくらいおいしい焼きそばのお好み焼きを作りました。

秋祭りは残念ながら中止になりましたが夕食では普段あまり召し上がらない皆さんも今日ばかりは、たくさん口に頬張っていました。

少しは、祭りの雰囲気味わえて頂けたのではないのでしょうか・・・？今年の委員は雨男、雨女の集まりだったのかなあ（笑）来年は晴れ男、晴れ女の委員が集まれば秋祭りが出来るかもしれませんね。（笑）

来年の秋祭りに期待して下さいね。  
生活支援室 高坂秀行



# 祝 敬老の日

9月17日は敬老の日と言う事で、今年も伊豆高原十字の園では、各ユニットにおいて、敬老の日を祝う会が開かれました。

それぞれのユニットごとに分かれて行われる敬老会は今年が2回目となります。敬老の日を盛大にお祝いするため、各ユニットで様々な工夫を凝らした会が開かれていました。

飾り付けをしたリビングで、みんな集まってお茶とお菓子を楽しんだり、ご家族と過ごす時間を楽しんだりされた事と思います。

また、それぞれの入居者の方にプレゼントが送られ、節目を迎えられる入居者の方にはお花と色紙が送られました。

今年も各ユニットごと、とても素晴らしい敬老会が開催されました。

## やんも



やんもユニットでは、職員からのプレゼントとして手話でもみじと赤とんぼを歌い、皆さんにとっても喜んでいただきました。

## けやき



皆様、日ごろご家族とゆっくり過ごして頂ける時間がなかなかないため、敬老会では素敵な笑顔を見ることが出来ました。

## すみれ



入居者皆様のご健康とご長寿を願うお祝いをしました。最後に山口岩吉さんから頂いた素敵なお言葉に感謝しました。

### 〈節目のお祝いの方々〉

#### 77才(喜寿)

清水次郎さん  
西村芳江さん  
鈴木紀佐子さん  
草ヶ谷恒子さん  
日吉淳吉さん

#### 80才(卒寿)

藤田克己さん  
鞠子美津江さん

#### 88才(米寿)

田村光枝さん  
西澤文子さん  
田之上つる子さん  
山田トヨさん  
中島マリさん

#### 梅原ひささん

#### 小川一二さん

#### 90才(卒寿)

岡本なつ子さん  
柏木三重子さん

#### 99才(白寿)

瀧澤春枝さん  
小沼清壽さん

#### 100才以上(百賀)

山口岩吉さん

## やまざくら



入居者皆さんと11名のご家族の方々とともに、和やかな時を過ごすことが出来ました。節目となる小沼清壽さん(白寿)のお祝いもでき、素晴らしい会となりました。

## もくれん



多くのご家族の方と、とても楽しいひとときを過ごすことができました。今年も素晴らしい敬老会となりました。

## うぐいす



昨年より多くのご家族にお越しいただき敬老の日をお祝いすることができました。皆さん、これからもお元気にお過ごしくださいね。

## かもめ



「素敵な笑顔」をいつもありがとうございます。皆様の健康と穏やかな暮らしが、末永く続きますように…

## カケス



カケス・メジロ合同で「おとわの会」の皆様による歌と踊りを、皆さん一緒に楽しみました。普段とは違う賑やかな時間を過ごすことが出来たのではないかと思います。

## メジロ



カケス・メジロ合同での敬老会となり入居者の皆さんの思い出に残る敬老の日になったことと思います。

## 家庭の暮らしを目指して

### メジロユニットケア奮闘記

#### 「平沢すすきさん故郷めぐり」

メジロユニットでは、毎月誕生会を行い、ご本人やご家族の希望を取り入れた外出、外食を行っています。

7月は平沢すすきさん85歳の誕生日。日頃、車椅子生活でなかなか外出する機会がないため外出を計画し娘さんに話をする。「自宅へ連れて帰りたい。」との希望があり、自宅周辺のドライブ外出を決行しました。



当日は娘さんにも同行して頂き、まず自宅へ。自宅の庭に入り娘さんから住んでいた頃の話、庭の木々を植えた時の話等をして頂き、すすきさんは言葉は出さなかったものの目を細めうなずかれていました。その後は、八幡野神社から八幡野港まで約1時間のドライブを楽しみました。帰園後、娘さんより「私だけでは連れて行けなかった。良かった。」と感謝の言葉を頂きました。

今後も皆さんに喜んで頂ける様な企画を考え、実行して行きたいとスタッフ一同、考えております。

メジロユニット 杉本己代子

## 個別機能訓練の取り組み

『生活リハビリってなあに?』

機能訓練とはなにか。一般には広くリハビリテーションといわれています。では、リハビリテーションって一体なんでしょうか。

事故で怪我をしたあと、或いは病気のあと、障害が残った身体の機能を回復させていく訓練を指す事が多いようです。しかし、リハビリテーションとは単なる機能回復訓練ではなく、生活に直結しているものだと考えられるようになり、新たに、生活リハビリテーションという概念が生まれています。

具体的には『歩けなくなった人が歩けるようになるための訓練』をすることだけではなく、『歩けない状態でも、自由に行動出来る様に車椅子の操作の練習をする訓練』だったり、『車椅子で過ごせる環境を整え、それらを使いこなすための訓練』や『車椅子に乗車できる現在を維持するための拘縮予防訓練』などを生活リハビリテーションといえます。

伊豆高原十字の園でも、8月より個別機能訓練を始めました。

個別機能訓練は、その方が今出来る事を中心に据えて、より安全で心地よく生活できるように、というこ

とを目的としています。具体的には、車椅子で移動できる現在を維持するために立位と腕の訓練をする、箸を使って食事をして現在の維持するために手指の訓練をする、平行棒を利用しての筋力強化訓練を行いながら移動が今よりも楽になることを目指す、等の活動を実施しています。無理のない目標を、楽しみながら。

そんな基本に則り、今過ごす生活がリハビリとなるよう、日々工夫しながら楽しく明るく活動しています!

機能訓練指導員 大川智加枝



## ♡大豊作♡

食欲の秋…読書の秋…スポーツの秋…恋愛の秋!?!…そして実りの秋！今年も伊豆高原十字の園デイサービスセンター農園では、沢山の農作物が収穫出来ました。春の優しい陽射しを受け、梅雨の雨にも負けず、真夏の強い陽射しから栄養を沢山もらい元気にこの時を迎えました。今年も利用者の皆様と共に収穫をし、ぬか漬けや、おやつ作りに使い、美味しく頂きました。



## 壁画「コスモスと赤トンボ」！！

秋の日を浴びて、コスモスもすっかり色付きました。今回も、利用者の方々と一緒におはな紙を丸め、ボンドで付けて完成です！



## 魚釣り大会

夏の陽射しも終わりを告げ、今年も豊漁の秋がやってきました。この時期、毎年釣り大会を行っています。今年は新たに数種類の魚が加わり、利用者の皆様は我先にと大きな魚・派手な魚を狙って大会を大いに盛り上げています。果たして今年のNo.1釣師は!?



No.13

デイサービス便り

※デイサービスでは、手品や踊りなどの催し物をして下さるボランティアさんを募集しております。

ご連絡、お待ちしております。 ☎0557-54-1630 伊豆高原十字の園デイサービスセンター 青木まで

## 介護予防事業を紹介します (伊東市委託事業)

介護予防事業担当の大高祐樹です。  
宜しくお願い致します。



介護認定を受けていない65歳以上の方が、できる限り介護状態にならないで、地域で生活できるように支援する事業です。市で基本チェックリストを実施し、一次予防事業対象者と二次予防事業対象者を把握して、それぞれのお身体に合わせた体操教室を案内し、教室を開催しています。

### 一次予防事業

元気なうちから日常生活の中で、積極的に継続した介護予防への取り組みができるように、体調チェック、体力測定、筋力トレーニング、個別相談等を行います。10回を1単位として、2時間程度の体操教室を行っています。今年度は、八幡野コミュニティセンター、富戸コミュニティセンター、池会館で実施しています。



### 二次予防事業

要介護状態になる心配がある方を対象に、地域包括支援センターや関係機関と連携して、参加者の介護予防の取り組みができるように支援します。12回を1単位として、2時間程度の体操教室を伊豆高原十字の園・地域交流ホールにて行っています。(参加者の送迎サービスあり) 見学もできますので、ぜひ、遊びに来てください。



## 日本キリスト教社会事業同盟 第68回総会・研修会

「行って、見て、知ろう 応援ツアー」で石巻、南三陸、気仙沼に行ってきました。

東北大震災の映像は、テレビなどで何度となく目にして、自然災害である地震や津波、そして原発の怖さについて考え、思いを馳せることがありましたが、災害から1年3ヶ月が経った今でも現場を訪れると、そこに存在していた人や物やそして生活が一瞬にして失われてしまう恐怖を感じました。

かけがえのない人や生活の拠り所を失い、自分達の生活がとぎれてしまった人達が、訪問させていただく私達に対して、温かく出迎えてくれて、思い出したくないであろう辛い体験を一生懸命に話してくださいました。ことに感謝しありませんでした。そして、人が頑張れる原動力は、『人』であることを実感しました。

瓦礫の山の隣の敷地で、地域の名産品を販売していた方達や社事業同盟でボランティアを派遣している施設やサービスなどで、被災した

方々が少しずつ日常を取り戻しつつあることに安堵しつつ、まだ辛い状況の中にいる方達に少しでもココロの平穏が訪れるように祈りつつ、その場を後にしました。

仙台在住の牧師より、「1年がたつて、今回の震災も忘れ去られようとしていますが、忘れないで下さい。」とお話がありました。思いを風化させず、少しでも支援し続けることが大切だと思いました。

早朝から静かな海に三陸名産のわかめの漁船が仕事をしていました。一日も早くそれぞれの生活を取り戻すことができるよう：祈ります。貴重な体験をありがとうございます。

した。

対島地域包括支援センター

小針国子



## 役割基準作成プロジェクト

この研修は「人が育つ組織作り」に向けた取り組みのひとつとして、日本経営戦略人事コンサルティングの協力のもと、第1回目が行われました。

STEP1自己改善(学びと振り返り)として、あるべきリーダーとしての考え方・態度・行動という基本的姿勢についての講義を受けました。またリーダーとしての基本的行動チェックシートを用い現在の自分を改めて見直すことで欠点を知り、これからの自分を成長させる方向性を確認することができました。これらを踏まえた上で、その都度ワーキングシートを作成しグループワークを行うのですが、自分も含め皆、長所より短所が大きく浮き彫りになったようです。

講習の終わりに各個人3つの目標を設定し、それを2ヶ月間実施するという取り組みが行われました。進捗具合が明確にわかるよう具体的な目標を設定したのですが、「継続する」ということの難しさを改めて実感しました。

しかし継続していくなかでいろいろなことが変化していくということにも気付かされました。日々の積み重ねが自身の大きな成長に繋がると信じ、あきらめずに挑戦していきたいと思います。

最後になりましたが、こちらの講習ではひと区切りごとに起立し「よろしくお願いします。」「ありがとうございます。」と礼を行います。普段は何気なく行っていることではありませんが、一つひとつの動作を確認しながらきちんとした礼をしたのは久しぶりでした。「礼に始まり礼に終わる」そんな基本的なことも見つめ直す講習となりました。

事務局

鈴木貴雅



生け花サークル



久野幸子さん



前田利子さん



大川みち江さん



杉本君子さん

あゆみのあと

7月

- 2 ▽生け花 B
- 10 ▽理髪・車椅子清掃
- 13 ▽森田屋
- 16 ▽生け花 A
- 18 ▽美容室・おやつサークル
- 25 ▽防災訓練

8月

- 1 ▽職員全体会
- 7 ▽生け花 B
- 9 ▽森田屋
- 14 ▽理髪
- 16 ▽おやつサークル
- 20 ▽生け花 A
- 22 ▽防災訓練

9月

- 4 ▽生け花 B
- 5 ▽総合防災訓練
- 11 ▽理髪・車椅子清掃
- 13 ▽森田屋・全体勉強会
- 17 ▽家族会総会・敬老会
- 18 ▽おやつサークル
- 19 ▽美容室
- 23 ▽秋祭り
- 24 ▽生け花 A

献金・献品者ご芳名

- 6月 ▽相生クラブ、豊橋鷹丘キリスト教会
- 7月 ▽岩本正夫、村中實、豊橋鷹丘キリスト教会、まるさ食品
- 8月 ▽鳴戸隆夫、斉藤千恵子、菅野眞理子、豊橋鷹丘キリスト教会
- 9月 ▽西村敦子、南場京子、小沼壽雄、豊橋鷹丘キリスト教会、加藤慶子、花徳、紫香園、匿名1件

皆様のご支援をお願い致します

郵便振替口座 00810-6-168180  
 ゆうちょ銀行 089店 当座 0168180  
 口座名義 伊豆高原十字の園

ご連絡いただければ、振替用紙をお送りいたします。

伊豆高原十字の園 ☎0557-54-1613

◆献金感謝◆

H24年6月～9月

計 15件 315,475円

ご協力くださいました多くの方々のご厚意に感謝しつつご報告いたします。ありがとうございました。

感謝ボランティア

伊東教会婦人会、宇佐美教会婦人会、のぞみの会、麦の会、家族会、伊東市第六地区民生委員児童委員協議会、大室高原ボランティアグループ、内田知(伊東教会)、千代崎聖子(伊東キリスト教会)、久保島泰・久保島理恵(伊豆八幡野教会)、山口光仕(川奈聖書教会)、島澤かおり(宇佐美教会)、浅野悦昭、岡善実、郵便局局長婦人会、東部会、平和の杜、伊豆高原ペンション協同組合、伊東地区更正保護女性会

(順不同・敬称略)

苦情対応の状況

▽施設 0件  
 ▽在宅 0件

〈苦情受付担当者〉

在宅・重永仁美(次長)  
 施設・小川秀幸  
 (主任生活相談員)

お知らせ

★清拭布寄付のお願い★

不要になった浴衣やタオル、雑巾等がありましたら、寄付をお願いします。生活相談室の小川までご連絡下さい。

あとかぎ

寒暖差がある日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。今夏も暑かったですね。脱水症状や熱中症は大丈夫でしたか？私事ですが、今年の夏、扇風機とエアコンを買いました！実は去年、「節電だ」「ダイエットだ」と意地意を張り、冷房器具のない部屋で過ごし、熱中症になりました…。今年も涼しい部屋で快適に過ごすが、冷房が体に合わず夏風邪を引いていました…。(泣)今年も暖冬らしいですが、冬でも細目な水分補給と暖房器具をうまく使い、体調管理に気を付けましょう☆(落)



十字の園 検索  
<http://www.jyuji.or.jp>

